

こころの目でみまもりあえる街を。



みまもりあい  
プロジェクト

 GOOD DESIGN  
AWARD 2018 受賞

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



「互助」をICTがサポートする発想で生まれた

「地域共生支援アプリ」が生み出すDX

# 団体実績



代表理事：高原達也 その他：理事15名、監事1名（公認会計士）

本部：北海道札幌市南区北ノ沢1-11-41、  
東京事務所：東京都新宿区南横町54-305

代表理事実績 = ベネッセで新規事業関係中心に携わる

- ①「公設民営・東京都認証保育園」事業開発
- ②「たまご・ひよこクラブ」新規営業開発
- ③「いぬのきもち」新規事業開発
- ④「ウィメンズパーク」（約500万ママ会員）事業開発



厚生労働省 介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業受託

2017年4月事業開始～



2018年11月22日

「みまもりあいプロジェクト」講演の機会



国立研究開発法人  
国立長寿医療研究センター



2019年

104本/年講演実施

医師会・病院協会・地域包括・大学  
行政・社協・自治会・公的機関等

導入自治体  
約40カ所

アーバンデータチャレンジ  
【アプリデータ部門 金賞受賞】

産官学の関係機関が連携して、社会インフラに関わる情報の収集・配信・  
利活用等の流通環境の整備を目的とした取り組み

(2018年2月24日受賞)

主催 東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO 等

一般社団法人

日本認知症ケア学会 令和元年石崎賞 受賞



東京海上日動 「認知症保険」 共同開発



GOOD DESIGN  
AWARD 2018 受賞

【2017年度オープンガバメント推進協議会賞 銅賞受賞】

(12県市に関わるオープンデータを活用が条件)

\*オープンデータ未活用ですが、  
12市の課題を解決する仕組みということで選出頂く

オープンガバメント推進協議会

武雄市 千葉市 奈良市 福岡市  
三重県 宝蘭市 大津市 弘前市  
横須賀市 郡山市 日南市 浜松市

東京都

2018年度

商店街グランプリ

優秀賞受賞

一生運のパートナー

第一生命

Dai-ichi Life Group

CSR  
支援

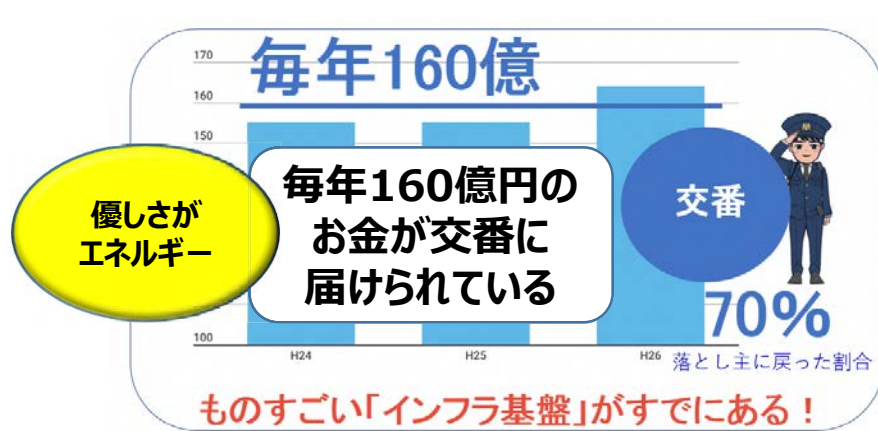
2020年 経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

令和2年度：認知症共生社会に向けた効果検証事業採択

2021年 経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

令和3年度：認知症共生社会に向けた効果検証事業採択

# 「困っている人を助けたい」と思う気持ち(互助)をICTがサポートする発想で生まれた「地域共生支援アプリ」



日本人の民度の高さ  
インフラ基盤

↓

仕組みがあれば  
「互助」は機能する

家族 「頼まれれば助ける」が72%!

親が認知症になったとき、  
周囲に「助けて」と言えますか？

「近所に困った人がいれば助けるか？」  
「困ったときに助けてと言えるか？」

「頼まれなくても助ける」……23%
「頼まれれば助ける」……72%
「助けない」……5%
「困ったときに助けてと言える」……5%
「困っていても助けてと言えない」……98%

助ける 95%

助けない 98%

困ったことがあれば助けたいと思っている人は95%もいるが、「助けて」が問題なんです

助けたい人と  
助けて欲しい人の  
「ミスマッチ」を  
解決すれば

互助  
(benefit)  
は機能する

互助×ICT  
地域共生支援アプリ

日本人の助け合い=「互助」  
(インフラ基盤)

ICTが優しさをサポート

安くて誰もが使える見守りシステム

# 「地域共生支援アプリ」から生まれる「助け合いの姿」

## ③地域主体・観光の見える化、緊急時に連携して助け合うことができる町



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

### ①「認知症の人や子ども」の迷子を見守り合う町

介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業受託



経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

### ②認知症の人に優しいSNSがある町

認知症共生社会に向けた製品・サービスの効果検証事業

本日の  
ご紹介項目



個人情報非取得（メールアドレスのみ取得）

1つのアプリで実現

①「認知症の方や子供」の一人歩き・迷子を地域で見守り合う

# 認知症の方や子供の一人歩き・ 迷子の搜索依頼サポート 展開



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

2016年度 介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業受託



# 緊急連絡ステッカーご紹介＝ユニバーサルデザイン (子供から高齢者まで)



個人情報保護した状態で  
直接対話

- ①フリーダイヤル
- ②ID
- ③転送技術



傘に  
ステッカー

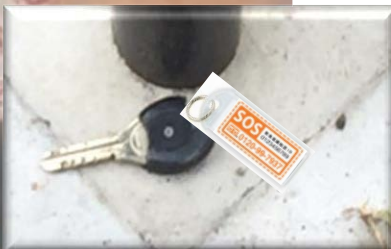


【本人】  
落とし物対策として…

【ご家族】  
万が一の緊急連絡として期待…

【子供】  
うちの子にも活用したい

尊厳



日本人が持つ  
「察する力」  
が働く



アプリ活用の流れ【①～③】



見守り  
支援

ライフ  
サポート

認知症患者を抱える家族の負担を軽減するサービスが広がっている。徘徊（はいかい）などが社会問題化し、常に目を離せない家族の苦勞は計り知れない。最近ではIT（情報技術）を活用した早期発見のサービスが相次ぎ登場しているほか、大手カーフェニションと連携し、家族のストレス軽減などに動き出した自治体もある。

「交番には年間186億円、7割が本人に戻る。日本人の助け合う力を生かし、迷子の認知症の人を早期発見できる仕組みをつくりたいと考えた」。社団法人セーフティネットリンケージ（札幌市）の高原達也代表理事は強調する。互助の力に習い、不明者を探し出すステッカーとアプリを開発。自治体が続々と導入している。

流れはこうだ。家族は「みまもりあいステッカー」を患者の財布や携帯電話などに貼り付け、発見時に連絡がほしい回線をつまんで登録する。捜索への協力者は事前に無料の専用アプリをダウンロードしておく。

不明時、家族はアプリにID番号や顔写真、当日の服装などを記載し、捜索依頼ボタンを押す。最大20分以内の協力の者のスマートフォンに不明者の情報が届

認知症 家族の負担軽く

八王子市  
アプリDL約1万件  
アプリ検索配信689件  
発見連絡208件  
(2018年実績)



セーフティネットリンケージが開発したみまもりあいステッカー（写真左）と昭文社が販売するQRコードがついたシール「おかえりQR」



◆アプリ使い不明者  
◆悩み共有できる

く。発見した場合、フリーダイヤルに電話し、ステッカーのIDを入力、家族の連絡先に電話がつながる。「終電後の駅構内のベンチに座っており、駅員が袖のステッカーを見て連絡をもらえた」「軽い交通事故にあい、ステッカーを見た病院関係者から連絡を受けた」。患者の家族から感謝の声が相次いでいる。

24時間365日利用可能だ。ステッカー48枚付きで年間3600円、入会費は2000円。このシステムを導入した自治体は福岡市、千葉県柏市などすでに24にのぼる。例えば、東京都八王子市ではアプリのダウンロード件数が9千件を超え、2018年度は捜索依頼が689件あった。通報

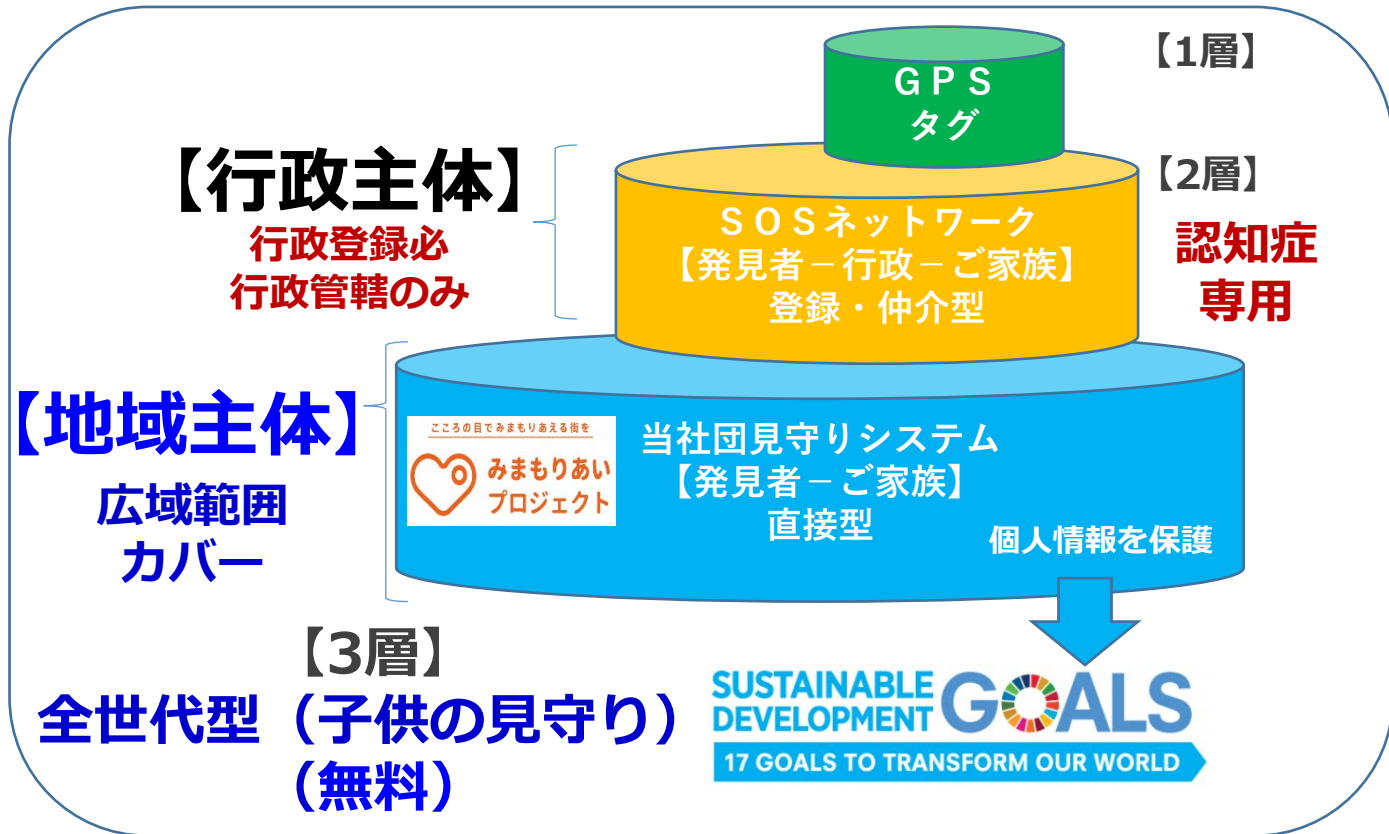
件数は202件に達し、実際に成果を上げている。「マップル」など地図・旅行書を取り扱う昭文社が開発したのは、患者の居場所の位置情報を家族に知らせるQRコードがついたシール「おかえりQR」だ。

25年、高齢者の5人に1人  
初期症状に注意を

国内の認知症の5人に1人が73歳以上。50代から60代にかけては診断が難しい。初期の観察時に取りこぼすことが多い。このため、



# 地域共生支援として「多世代型見守り連携」提案が可能 (アプリは無料で利用可能)



～スマホアプリ「けやき通りあひ」を使って～  
協力 みんなの安心・ささえあいネットワーク  
**けやき通り かくれんぼ**  
みつけるのはキミだ!!  
2017年11月19日(日) 12時スタート!!!  
**参加者求む!!**  
けやき通りの小さなお祭り!!  
突如消えた小金井市長や住民たち!!  
※注. これは訓練を極めたゲームです。

**【協力者画面】**

戻る 48歳男性

500m以内の介護者から搜索協力依頼が発信されました

※小金井市けやき通りお祭り見守りの予行演習です

48歳男性  
発見時は  
0120-99-7937  
へご連絡ください!

緊急連絡先ID: 5021286607

**IDで個人情報保護**

地図で確認

特徴 (苗字、呼び名、身体特徴、素行など)  
声掛けする際の呼び方: しんちゃん「小金井市市長」  
だいたい身長: 169  
体型: 普通

スタンプを6人から集める

\* 参加頂いた小金井市市長の写真です

**子供を中心とした30・40代のファミリーが搜索体験**

**「けやき通り商店会」初実施**  
2017年11月 = 120人参加

**2018年度**  
**東京都商店会グランプリ**  
**優秀賞受賞**

②安全性高い×優しいSNSがある町  
(地域限定SNS)

# 地域コミュニティー 展開



経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

令和2年度「認知症共生社会に向けた製品・サービスの効果検証事業」





= 「誰ひとりおいてきぼりにしない」を実現



誤解や偏見がまだ社会に存在するため、

ご本人の気持ちに配慮できるよう

アプリを経由して 包括的ケアマネジメント

(社会とのつながりの再生・生活支援・就労支援等) を提供



認知症の方が  
参加するこ  
ができるSNS

1

認知症の方が  
参加すること  
ができるSNS

自分のペースで  
個人情報に配慮した形でつながれる  
自分に合った選択ができる場

認知症の人が使えるSNS目指して・・・

認知症の人が使える  
SNSの実現目指して・・・  
当事者目線から生まれたDX



アプリ  
個人情報非取得  
+  
ワンクリック登録の実現  
ID・PWが自動発行  
(忘却OK)

産学官  
連携  
(国産)

地域  
限定  
SNS

ネット系  
広告  
NG

所属不  
明な個人  
投稿NG

想定1  
79歳以下  
認知症の人が  
自分で使う

想定2  
80歳以上  
ご家族  
支援者が  
サポート

2

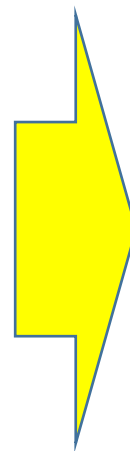
認知症の方が  
参加すること  
ができるSNS



まずは  
聴くことから…

インタビュー  
(傾聴)

そして…  
声を  
いつでも  
聴ける  
環境作り



地域  
優しい  
理解

研究  
支援

新事業  
支援



困ったときに身近な人・団体・地域から情報が簡単に取得できる  
仲間と出会えて、支え合いができる（ピアサポート）



オンライン上  
**活躍の場**

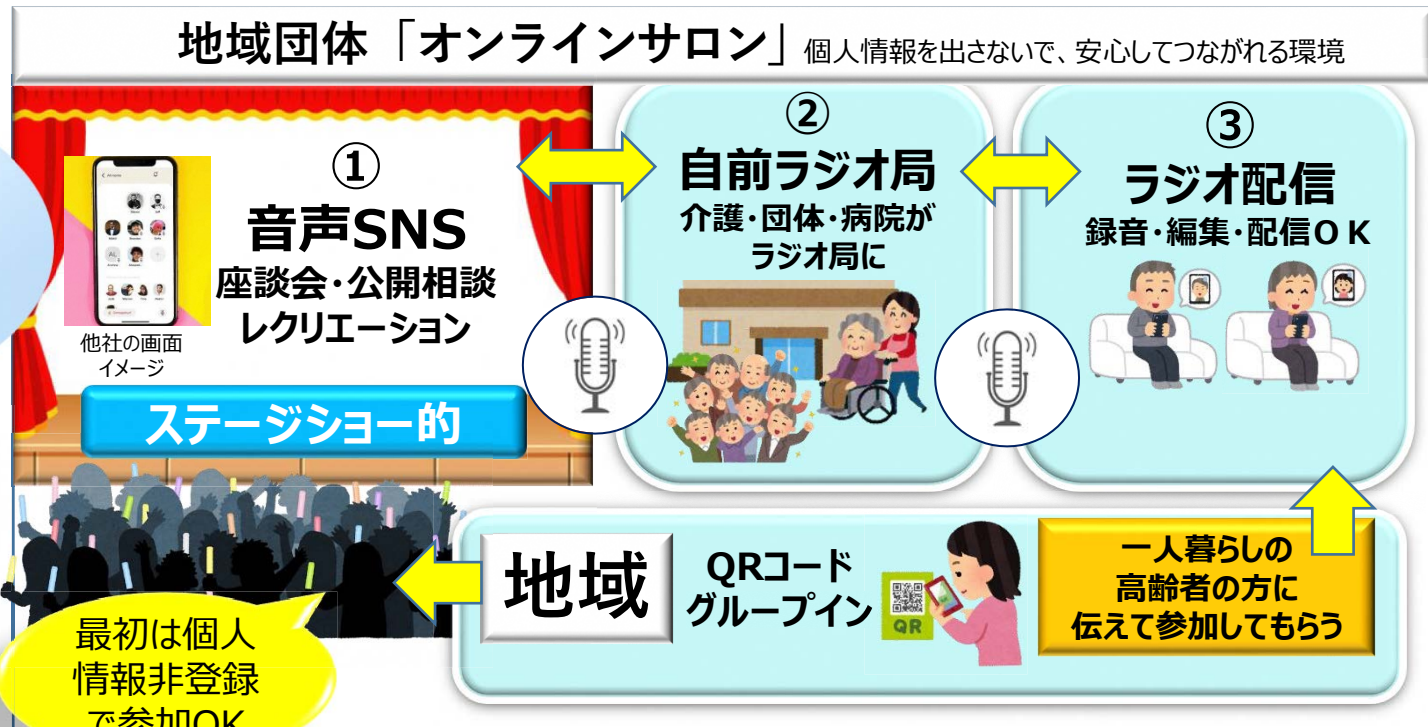
認知症含む  
高齢者の方

話すことで  
役に立てる  
なら俺も参  
加したい

まずは  
聴くことから・・・

最初は個人  
情報非登録  
で参加OK

地域団体「オンラインサロン」 個人情報を出さなくて、安心してつながれる環境

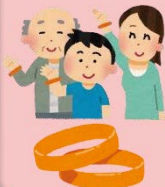




# 「グループ」に参加するイメージは・・・

地域  
福祉関係者

支援者の  
研修



学生新人  
介護士  
への教育



福祉に関  
心がある  
一般の人



地域における活動

非登録

NPO支援団体  
ラジオ配信



地域の医師による  
ラジオ配信



昨日どうよ？



グループ活動

登録

オンラインサロン  
メンバーに  
(仲間)



ながら学習  
可能

## 地域コミュニティー展開

当事者の声でつなぐ  
音声リレー企画



参加者募集予定

# ① 若年性認知症の人たちに向けての支援 = オンラインピアサポート展開

「地元では仲間に出会えない・・・」  
「自分にあった居場所がない・・・」

昨日どうよ?



頑張らずに、自分のペースで  
ゆったりつながってられる場

グループ活動

登録

オンラインサロン  
ピアサポート  
展開



## ② デイサービス等を通じて在宅支援

まずは、当事者の方の気持ちを聞くことから→リアルな場とのマッチングに・・・

音声配信リレー  
企画



自分たちで  
ラジオ的な番組を簡単  
に作れるように開発

セグメントとエピソードノ



話すことで  
役に立てる  
なら俺も参  
加したい

タイトル「お出かけ、ええやん！」  
デイサービス中に一人お出かけされた  
Aさんにインタビュー

それ、  
ええやん！



地域

優しい  
理解



社会とのつながりを消失  
消失の危機にある人



「当事者先輩の話・団体活  
動の話・介護現場の話」  
をアプリを通じて発信

【事例】 介護施設・病院・支援団体



自前ラジオ局

介護施設 = レクとして  
音声リレー企画

スタッフ

利用者

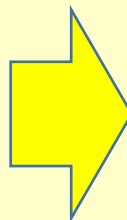
それ、  
ええやん！



〇〇さんインタビュー

【メリット】

- ①施設レクとして使える
- ②ご本人の活躍の場
- ③ご家族に共有出来る
- ④介護士の傾聴力を高める



【利用者に対する理解】

その人の人生・好みや考え方を  
スタッフが知ることで、  
援助方法がその人に合ったものに

介護力を高める = 聞く力

その人のパーソナル  
ストーリーを聞く



家族の歴史



今までの  
病気のこと



性格・  
価値観



「プラン」が充実する  
よりフィットしたものに  
幸福度をあげる

理解するってみんなが優しくなれることだと思うので、

インタビューレク企画によって、本人の理解が深まって、**周囲の人が優しくなれたら良いですね。**



インタビューしたら、その方を理解できて、**その方を大切な「人」として身近に感じる...**

親しくなった人には、優しくなれますよね。

「介護はお世話するのが  
仕事じゃなくて、その人を  
幸せにするための仕事」

だと思えます。でも、改めて本人さんの  
情報聞くタイミングがなかなか無いの  
で、レクでインタビュー企画があれば…

「幸せにするヒント」が  
いっぱい見つかるはずだし

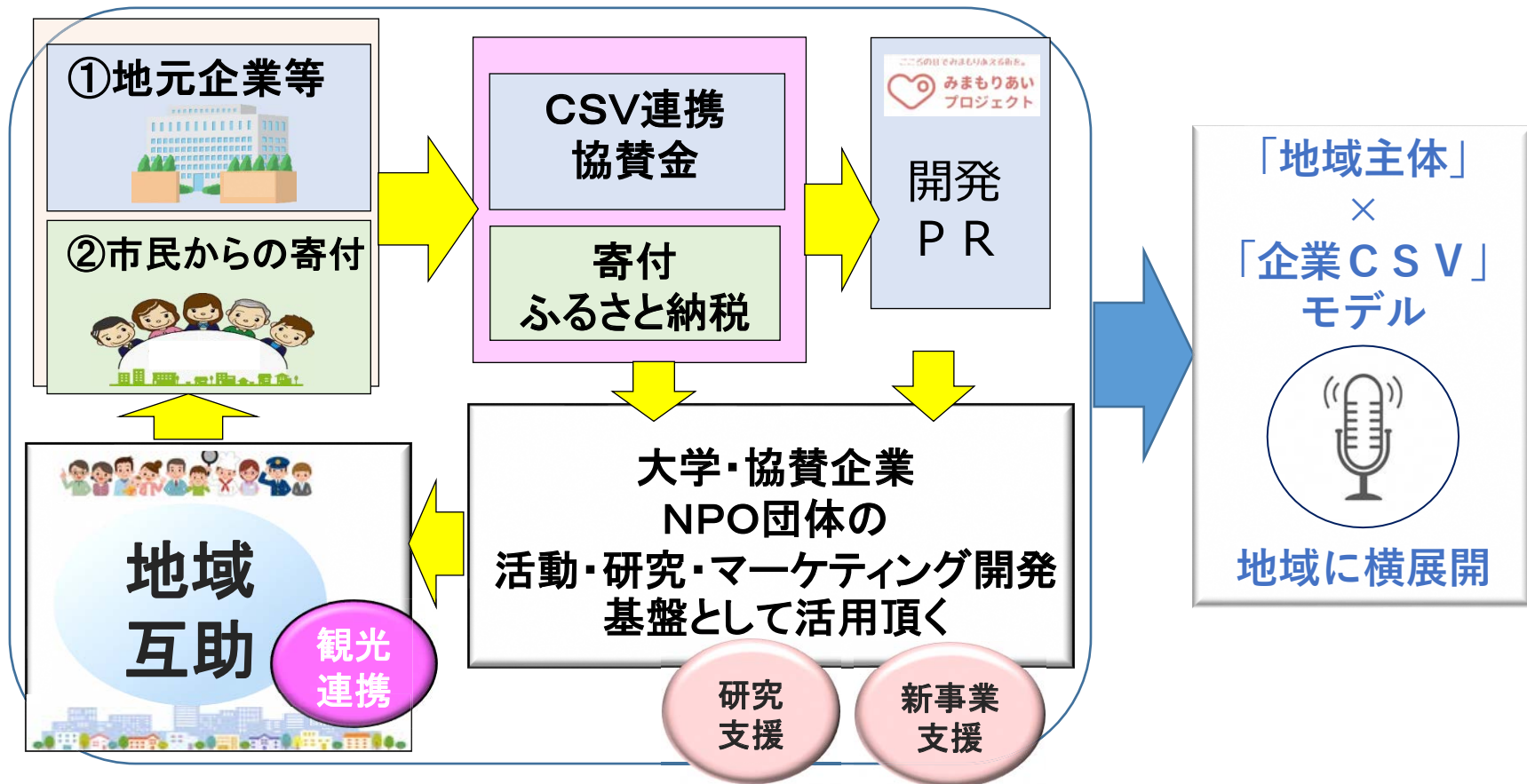
自然と、介護スキルも上がると思います。



認知症って、出方が  
色々なんですよ。  
それこそ個性の一環。

それをね、多くの方は体感してない。  
それを、地域の人達に  
インタビューを通して体感してもらう。

例えば、  
短期記憶障害なので、  
昨日、転倒した記憶はないんです。  
だけど…、  
施設がイマイチだったことは覚えてる  
んです。





クラウドファンディング実施

寄付

個人

法人

認知症当事者の方  
音声リレー  
ひとりぼっちを作らない企画

「つながり・絆」音声機能開発

